



システムレジスタUP-600S

特設会場にて短時間に集中する 会計をスムーズ処理。 三陽商会催事用に、 シャープシステムレジスタ

『UP-600S』を採用。

これは社員の家族や知人友人を対象に行う会員セールで、1人のお客さまに年2回の案内をする。ほかに株主優待セールなどもあるので、ほぼ1回セールをしていることになる。ファミリーセールは、毎回4日間の開催で1万人を集客。1日の売上点数は2万点に及ぶ大規模なもの。この処理をするのがシャープシステムレジスタだ。

セール会場は広い。お客さまは入口から入ると紳士服、子供服、婦人服と順に巡って歩く。婦人服にはプレタポルテもあればカジュアルもある。あふれる商品の森の中から気に入ったものを選び出し、大きなビニール袋に入れて出口に向かう。そこに待っているのがレジスタの列だ。10台がクレジットカード用、4台が現金用。そこでいっせいに会計する。これだけあっても混雑時には長い列ができる。それとは別に雑貨・小物のコーナーレジスタだ。

高性能ながら
設置も保管も手軽な
システムレジスタ

サンヨーアパレル株式会社では今春、シャープシステムレジスタUP-600Sを20台まとめて購入した。これは、毎月開催する催事の時に使う専用のレジスタだ。サンヨーアパレルでは東京・北の丸公園内にある科学技術館で年に10回三陽商会ファミリーセールを開催している。

ボタン一つで
システムレジスタと
クレジット端末を連動

1があり、ここにも3台のレジスタを設置している。他に1台、レジ会計を終えた後で返品したいというお客さまに対応するレジを用意してある。予備2台を加えて都合20台が必要となっている。

高橋充事本部部長は、レジを一新する前には、ぜひ解消したい悩みを抱えていた。「お客さまのクレジットカード利用率が年々高まり、今では75%がカードでお支払いになるので」

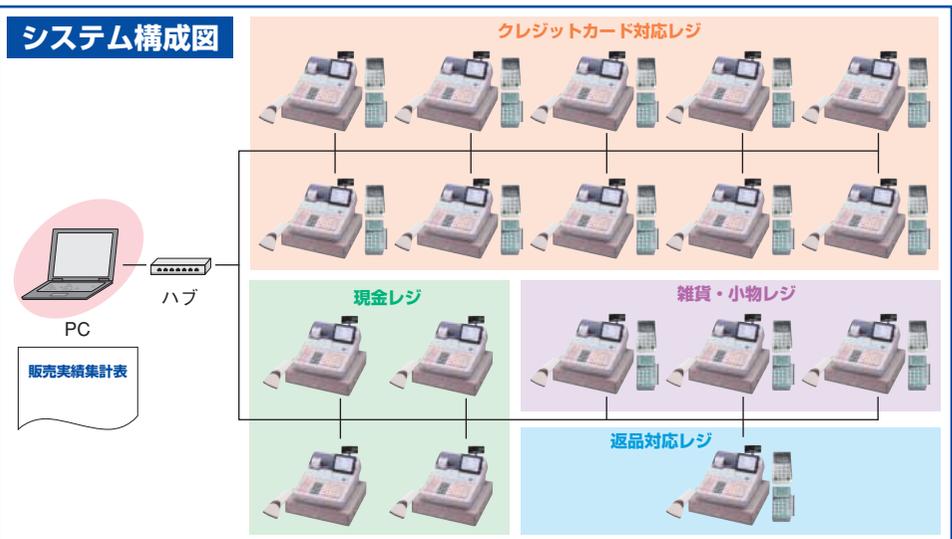
だからクレジットカードの処理ミスを防ぐことが大きな課題になっていた。従来のレジではレジに表示された金額を、クレジット端末に手で入力していた。それを

する。クレジット端末に金額を打ちかえることがないから打ちミスもない。システムレジスタの導入によって、クレジットカード精算にまつわるミスは皆無になった。

クレジット端末は、以前は携帯電話をつないでいたが、現在は有線の電話回線を使っている。「やっぱり有線電話は早いので、お客さまをお待たせしません。設営のたびに電話線をつなぐ面倒はありますが、このほうが確実です」と高橋さん。

催事に適した
NON-PLU
バーコード対応

商品には本来の正札とこのセール専用のラベルが付いており、金額とバーコードが印



「設置も引き揚げもかんたんで、最適のレジスタだと思います。札幌、名古屋、大阪、福岡の4都市でもそれぞれ定期的にセールを開催しているのですが、それらの導入も検討しています」と意欲的だ。

会社概要

会社名：サンヨーアパレル株式会社

所在地：東京都中央区日本橋馬喰町1-6-7

写真：事業本部部長 高橋充氏

お問合せ先
シャープ株式会社 情報通信事業本部Bソリューション事業部営業推進部
東京都新宿区市谷八幡町8番地
TEL.03-3260-8430 <http://www.sharp.co.jp>

